

### 来たれ！女性の皆さん

山形商工会議所青年部

齋藤友香理さん(㈱くろげ)

秋葉和美さん

(㈱イベントプロデュースガッツ)

山形が誇る日本一の芋煮会フェスティバルが9月15日、快晴の馬見ヶ崎川河川敷を会場に盛大に開催された。第31回となる今年、山形商工会議所青年部の女性会員2人が、案内アナウンス、ステージイベント進行に大活躍した。

芋煮茶屋でマイクを握ったのは齋藤友香理さん。山形駅前すずらん商店街の炭火焼肉店㈱くろげの社長室長。父隆夫氏の片腕として経理・事務を担当し、さらにデパートなどの催事では実演販売に飛び回る。

青年部メンバーで、山形花笠まつりの協賛イベント「花笠食フェスタ」で腕をふるった父と入れ替わるように青年部に入会した。今年で5年目を迎える。芋煮茶屋での案内アナウンスは昨年に続いて2度目。はつらつとした笑顔と歯切れのよい言葉で、きめ細かな情報を会場いっばいに届けた。

ステージイベントをサポートした秋葉和美さんは、イベントを企画・制作する㈱イベントプロデュースガッツ(山形市松波)の社員。先輩社員が代々青年部で活動しており、新潟オフィスから本社勤務となったのを機に、今年5月に先輩の後を継いで入会した。

河川敷に設けられたステージではオープニングセレモニー、花笠おどり、バンド等様々なパフォーマンスが繰り広げられる。来賓の案内や出演者の案内などタイムスケジュールに沿って、先輩スタッフと共に会場を駆け回った。

「父と一緒に食フェスタを手伝ったこともあ



芋煮茶屋で丁寧なインフォメーションを心掛けた齋藤さん(写真上)と清野会頭をはじめ来賓を案内するステージ周り担当の秋葉さん

り、青年部は私にとってとても身近な存在でした。5年間の活動を通して仲間も増え、いろんな職業について知ることができました。頑張っていきたいですね」と齋藤さん。秋葉さんは「入って間もないけれど、日常の仕事や青年部活動を通して山形の素晴らしさを発信していきたい」と話す。

青年部は1983年に県内では鶴岡、米沢、酒田、長井に続いて創立した。清野伸昭会頭をはじめ多くの経済人を輩出しているが、女性会員はわずか28人。

「多くの企業で女性が活躍している時代。同じ年代の女性はもちろん、働くママさんも大歓迎。青年部の活動に深みと広がりが増すはず」。そう期待している。